

## 『貯蓄から投資へ』に関する特別世論調査』の概要

平成 19 年 6 月  
内閣府政府広報室

調査概要	調査対象 有効回収数 調査期間 調査方法	全国 20 歳以上の者 3,000 人 1,728 人 (57.6%) 平成 19 年 5 月 17 日～5 月 27 日 調査員による個別面接聴取
調査目的	「貯蓄から投資へ」に関する国民の意識を調査し、今後の施策の参考とする。	
調査項目	1 「貯蓄から投資へ」という国の方針の認知度 2 国民の多くが投資より貯蓄を選ぶ理由 3 重要と思う国の取組 4 現在所有している証券の種類 5 株式・投資信託への投資の現状と今後の意向	
調査実績	・ 証券投資に関する世論調査（平成 14 年 5 月） ・ 株式投資に関する特別世論調査（平成 16 年 10 月） ・ 金融商品・サービスに関する特別世論調査（平成 17 年 12 月）	

（今回の調査から、調査対象者に調査主体が「内閣府」であることを提示した上で実施している。）

<お願い>

本資料の内容を引用された場合、その掲載部分の写しを  
下記宛にご送付ください。

内閣府大臣官房政府広報室  
世論調査担当

〒100-8914 東京都千代田区永田町 1 - 6 - 1  
電話 03(3581)0070  
FAX 03(3580)1186

# 『貯蓄から投資へ』に関する特別世論調査」の要旨

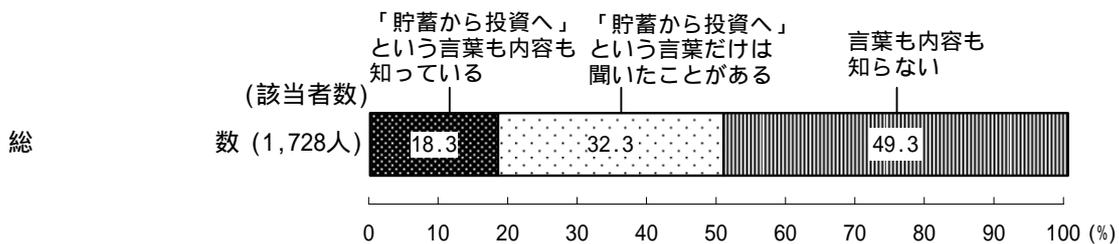
平成 19 年 6 月  
内閣府政府広報室

調査時期：平成 19 年 5 月 17 日～平成 19 年 5 月 27 日  
調査対象：全国 20 歳以上の者 3,000 人  
回収結果：1,728 人（57.6%）

## 1 「貯蓄から投資へ」という国の方針の認知度

平成 19 年 5 月

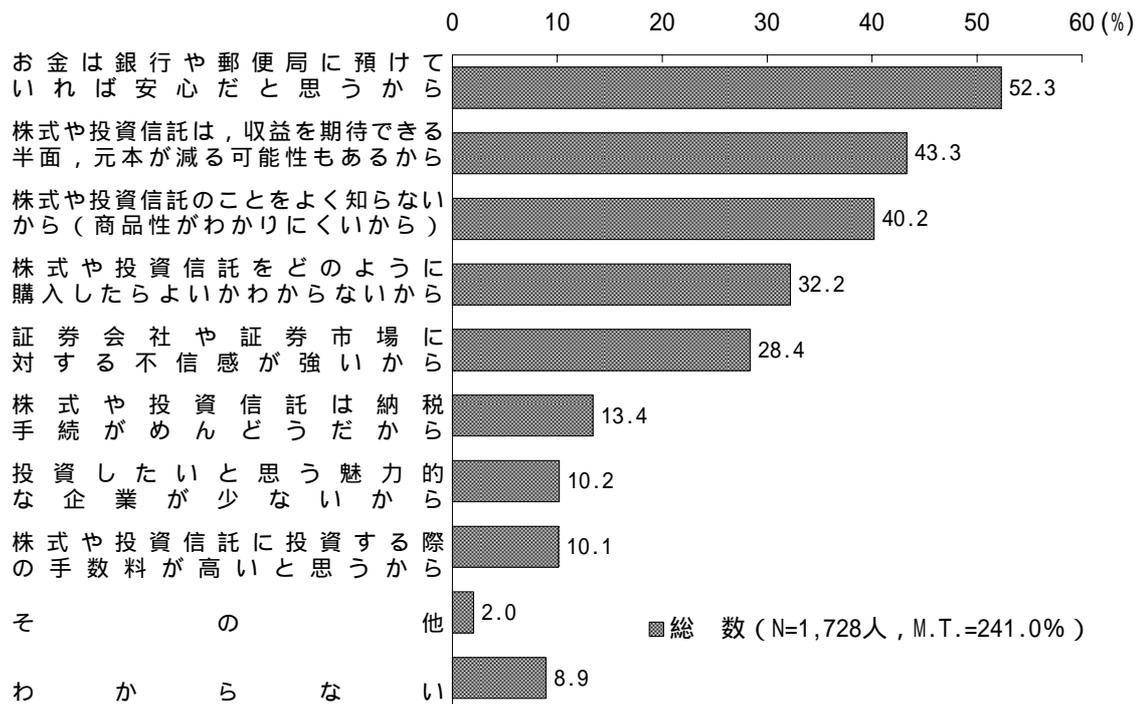
- ・「貯蓄から投資へ」という言葉も内容も知っている 18.3%
- ・「貯蓄から投資へ」という言葉だけは聞いたことがある 32.3%
- ・言葉も内容も知らない 49.3%



## 2 国民の多くが投資より貯蓄を選ぶ理由（複数回答）

平成 19 年 5 月

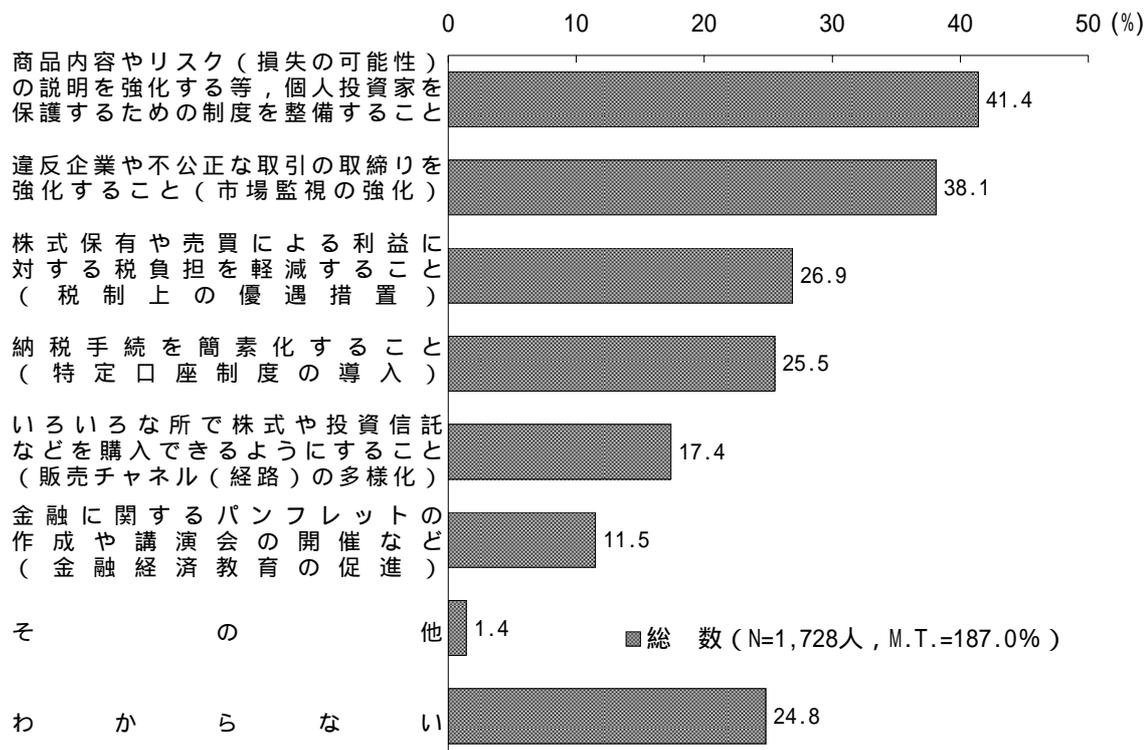
- ・お金は銀行や郵便局に預けていれば安心だと思うから 52.3%
- ・株式や投資信託は、収益を期待できる半面、元本が減る可能性もあるから 43.3%
- ・株式や投資信託のことをよく知らないから（商品性がわかりにくいから） 40.2%
- ・株式や投資信託をどのように購入したらよいかわからないから 32.2%
- ・証券会社や証券市場に対する不信感が強いから 28.4%



### 3 重要と思う国の取組（複数回答）

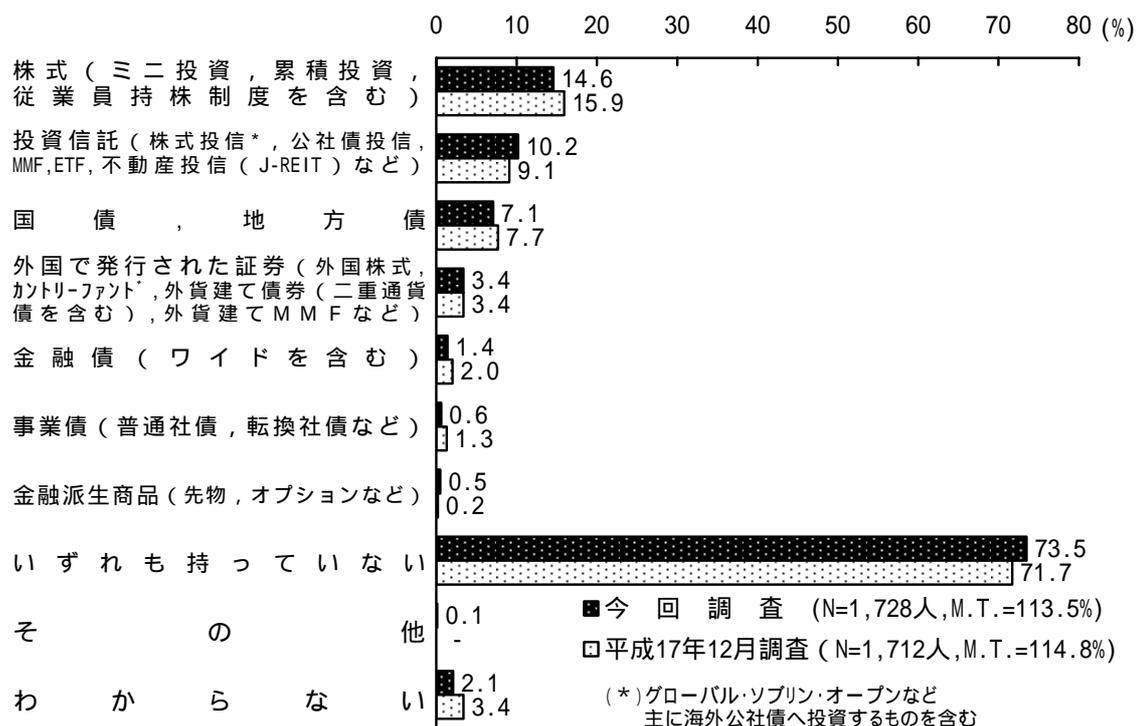
平成 19 年 5 月

- ・商品内容やリスク（損失の可能性）の説明を強化する等，個人投資家を保護するための制度を整備すること 41.4%
- ・違反企業や不公正な取引の取締りを強化すること（市場監視の強化） 38.1%
- ・株式保有や売買による利益に対する税負担を軽減すること（税制上の優遇措置） 26.9%
- ・納税手続を簡素化すること（特定口座制度の導入） 25.5%



#### 4 現在所有している証券の種類（複数回答）

	平成 17 年 12 月	平成 19 年 5 月
・株式（ミニ投資，累積投資，従業員持株制度を含む）	15.9%	14.6%
・投資信託（株式投信*，公社債投信，MMF，ETF，不動産投信（J-REIT）など）	9.1%	10.2%
・国債，地方債	7.7%	7.1%
・外国で発行された証券（外国株式，カンントリーファンド，外貨建て債券（二重通貨債を含む），外貨建てMMFなど）	3.4%	3.4%
・いずれも持っていない	71.7%	73.5%



#### 〔参考〕現在保有している証券の種類

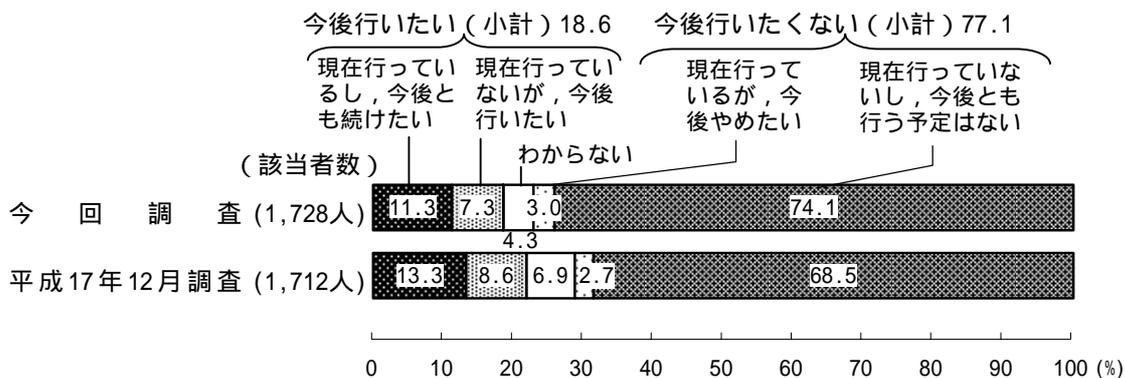
(複数回答)

	該 当 者 数	株 式 (ミニ投資、 累積投資、 従業員持 株制度を含む)	投 資 信 託 (株式投信、 公社債投信、 MMF、 ETF、 不動産投信 など)	国 債 、 地 方 債	外 国 で 発 行 さ れ た 証 券 (外国株式、 カンントリー ファンド、 外貨建て 債券(二重 通貨債を含む)、 外貨建て MMFなど)	金 融 債 (ワイドを 含む)	事 業 債 (普通社債、 転換社債 など)	金 融 派 生 商 品 (先物、 オプション など)	い ず れ も 保 有 し な い	そ の 他	わ か ら な い	計 (M.T.)
	人	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
平成 16 年 10 月 調査	2,067	13.5	6.6	4.8	2.4	1.5	0.8	0.2	76.9	0.1	3.8	110.6

5 株式・投資信託への投資の現状と今後の意向

(1) 株式

	平成 17 年 12 月	平成 19 年 5 月
・現在行っているし、今後とも続けたい	13.3%	11.3%
・現在行っていないが、今後行いたい	8.6%	7.3%
・現在行っているが、今後やめたい	2.7%	3.0%
・現在行っていないし、今後とも行う予定はない	68.5%	74.1%
・わからない	6.9%	4.3%



〔参考〕株式投資の現状と今後の意向

	該当者数	今後行いたい (小計)			今後行いたくない (小計)			わからない
		現在行っているし、今後	現在行っていないが、今後	わからない	現在行っているが、今後	現在行っていないし、今後	わからない	
平成16年10月調査	2,067人	16.3%	10.7%	5.6%	72.1%	3.3%	68.8%	11.7%

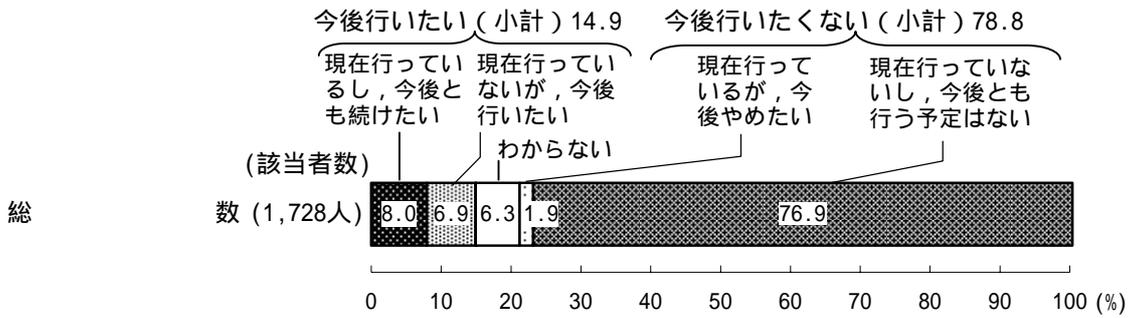
〔参考〕今後の株式投資の意向

	該当者数	行っている			行っていない			わからない
		行っている方(継続)	行っていない方(継続)	行っていない方(新規)	行っている方(継続)	行っていない方(継続)	行っていない方(新規)	
平成14年5月調査	2,150人	11.4%	7.1%	4.3%	82.7%	5.6%	77.1%	5.9%

(2) 投資信託

平成 19 年 5 月

- ・現在行っているし、今後とも続けたい 8.0%
- ・現在行っていないが、今後行いたい 6.9%
- ・現在行っているが、今後やめたい 1.9%
- ・現在行っていないし、今後とも行う予定はない 76.9%
- ・わからない 6.3%



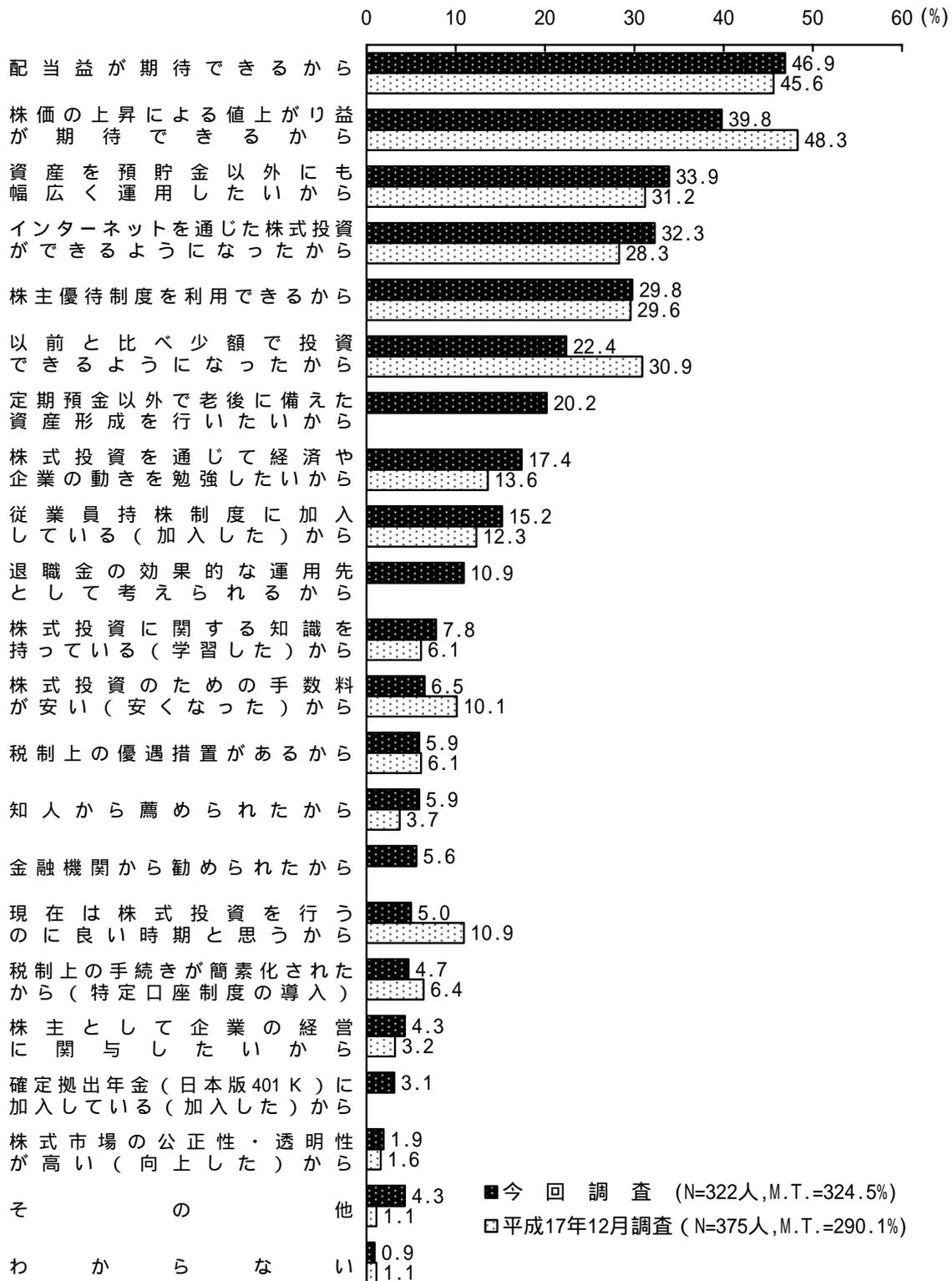
〔参考〕投資信託への投資の意向

	該 当 者 数	行 っ て み た い	今後行いたい (小計) 14.9			行 っ て み た い	今後行いたくない (小計) 78.8		わ か ら な い
			し て み た い は い 続 け たい (%)	行 っ て い ない が 、 今 後 行 い たい (%)	わ か ら な い (%)		今 後 行 っ て い ない が 、 今 後 や め たい (%)	今 後 行 っ て い ない し 、 今 後 と も 行 う 予 定 は な い (%)	
平成 14 年 5 月 調査	人 2,150	% 5.6	% 3.2	% 2.5	% 87.5	% 6.2	% 81.3	% 6.9	

(3) 株式投資を行いたい理由

(株式投資を今後も行いたい(続けたい)とした者(322人)に複数回答)

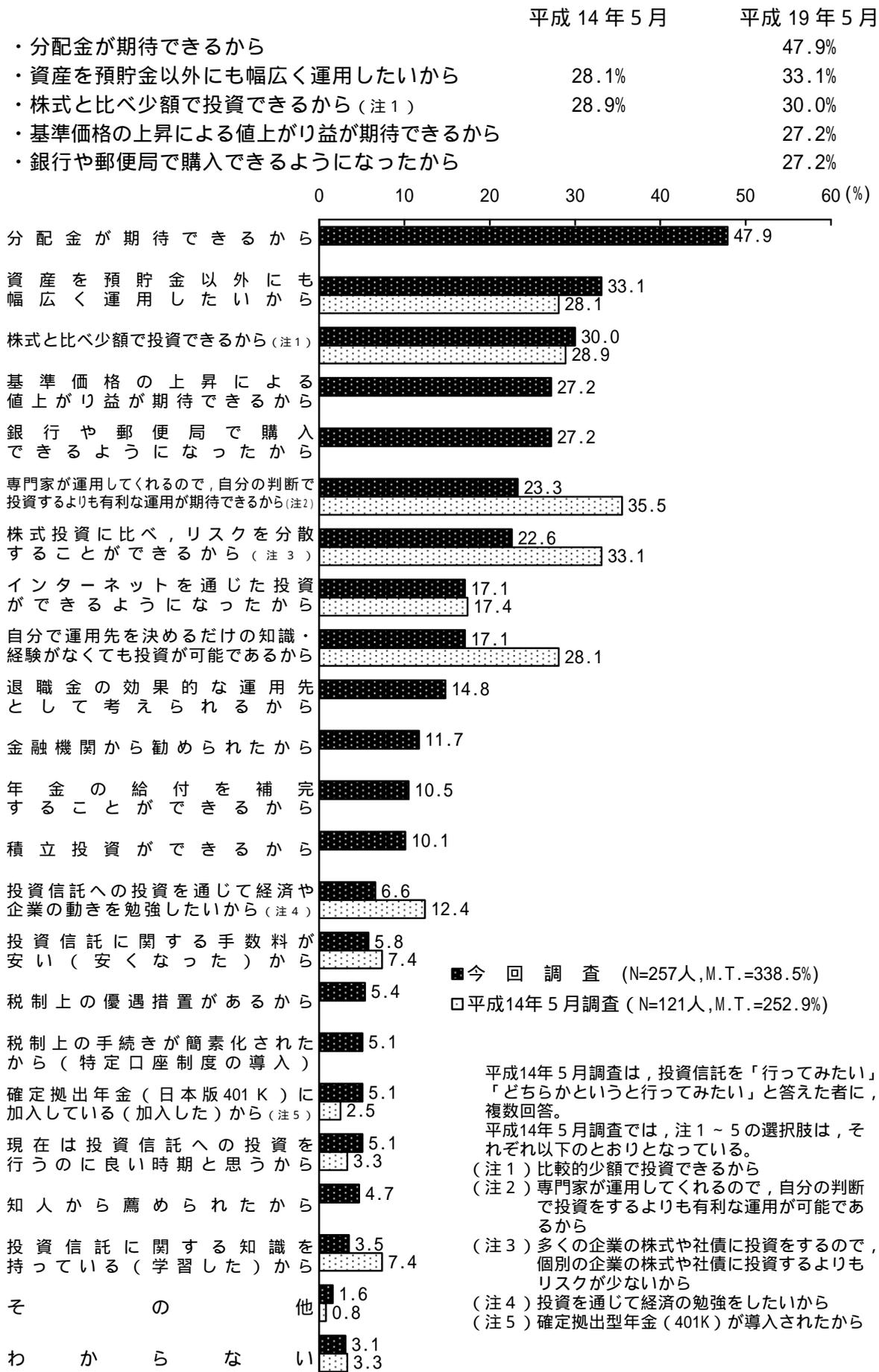
	平成17年12月	平成19年5月
・配当益が期待できるから	45.6%	46.9%
・株価の上昇による値上がり益が期待できるから	48.3%	39.8%
・資産を預貯金以外にも幅広く運用したいから	31.2%	33.9%
・インターネットを通じた株式投資ができるようになったから	28.3%	32.3%
・株主優待制度を利用できるから	29.6%	29.8%





(4) 投資信託への投資を行いたい理由

(投資信託を今後も行いたい(続けたい)とした者(257人)に複数回答)



## 「貯蓄から投資へ」に関する特別世論調査

平成 19 年 6 月

調査時期：平成 19 年 5 月 17 日から平成 19 年 5 月 27 日  
調査対象：全国 20 歳以上の者 3,000 人  
回収結果：1,728 人 (57.6%)

話は変わりますが、次に時事問題として「貯蓄から投資へ」についてお伺いします。  
(【資料】を提示して、調査対象者によく読んでもらってから、以下の質問を行う。)

### 【資料】

日本では、個人の金融資産の大半は現金や預貯金となっており、株式や投資信託の占める割合は、主な諸外国に比べて特に低くなっています。

国では、「貯蓄から投資へ」という方針の下、預貯金などの「貯蓄」から株式・投資信託などの「投資」への流れを進めるため、いろいろな取組を行っています。

### 1 「貯蓄から投資へ」について

Q 1〔回答票 14〕あなたは、「貯蓄から投資へ」という国の方針をご存じですか。この中から 1 つだけお答えください。

- (18.3) (ア) 「貯蓄から投資へ」という言葉も内容も知っている
- (32.3) (イ) 「貯蓄から投資へ」という言葉だけは聞いたことがある
- (49.3) (ウ) 言葉も内容も知らない

Q 2〔回答票 15〕現在、日本において、国民の多くが金融資産の運用方法として「投資」よりも「貯蓄」を選ぶ理由は何だと思えますか。この中からいくつでもあげてください。

(M.A.)

- (10.2) (ア) 投資したいと思う魅力的な企業が少ないから
- (32.2) (イ) 株式や投資信託をどのように購入したらよいかわからないから
- (13.4) (ウ) 株式や投資信託は納税手続きがめんどうだから
- (40.2) (エ) 株式や投資信託のことをよく知らないから (商品性がわかりにくいから)
- (52.3) (オ) お金は銀行や郵便局に預けていれば安心だと思うから
- (28.4) (カ) 証券会社や証券市場に対する不信感が強いから
- (43.3) (キ) 株式や投資信託は、収益を期待できる半面、元本が減る可能性もあるから
- (10.1) (ク) 株式や投資信託に投資する際の手数料が高いと思うから

( 2.0) その他 ( )

( 8.9) わからない

(M.T.=241.0)

Q 3〔回答票 16〕国では、「貯蓄から投資へ」の流れを進めるため、次のような取組を行っています。これらのうち、あなたが重要だと思うものは何ですか。この中からいくつでもあげてください。(M.A.)

- (17.4) (ア) いろいろな所で株式や投資信託などを購入できるようにすること(販売チャネル(経路)の多様化)
- (26.9) (イ) 株式保有や売買による利益に対する税負担を軽減すること(税制上の優遇措置)
- (25.5) (ウ) 納税手続を簡素化すること(特定口座制度の導入)
- (41.4) (エ) 商品内容やリスク(損失の可能性)の説明を強化する等、個人投資家を保護するための制度を整備すること
- (38.1) (オ) 違反企業や不正な取引の取締りを強化すること(市場監視の強化)
- (11.5) (カ) 金融に関するパンフレットの作成や講演会の開催など(金融経済教育の促進)
- ( 1.4) その他( )
- (24.8) わからない (M.T.=187.0)

---

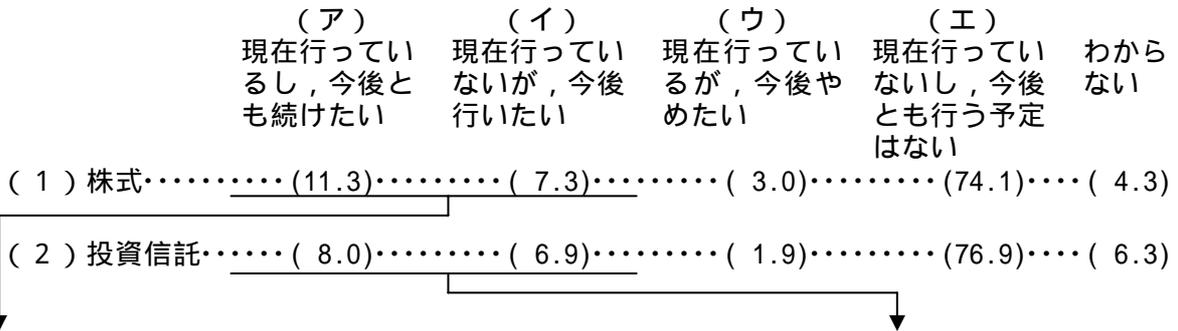
## 2 証券投資について

Q 4〔回答票 17〕あなたは現在どのような証券を持っていますか。この中からいくつでもあげてください。(M.A.)

- (14.6) (ア) 株式(ミニ投資, 累積投資, 従業員持株制度を含む)
- (10.2) (イ) 投資信託(株式投信\*, 公社債投信, MMF, ETF, 不動産投信(J-R EIT)など)
- ( 7.1) (ウ) 国債, 地方債
- ( 1.4) (エ) 金融債(ワイドを含む)
- ( 0.6) (オ) 事業債(普通社債, 転換社債など)
- ( 0.5) (カ) 金融派生商品(先物, オプションなど)
- ( 3.4) (キ) 外国で発行された証券(外国株式, カントリーファンド, 外貨建て債券(二重通貨債を含む), 外貨建てMMFなど)
- (73.5) (ク) いずれも持っていない
- ( 0.1) その他( )
- ( 2.1) わからない (M.T.=113.5)

(\*) グローバル・ソブリン・オープンなど主に海外公社債へ投資するものを含む

Q5〔回答票18〕あなたは現在、株式や投資信託への投資を行っていますか。また、今後行いたい（または続けたい）と思いますか。この中から当てはまるものをそれぞれ1つだけお答えください。〔まず（1）について聞き、次に（2）について聞く〕



<p>(Q5 (1) 株式で(ア)または(イ)と答えた者に聞く) S Q 1〔回答票19〕あなたが株式投資を行いたい（または続けたい）と思う理由は何ですか。この中からいくつでもあげてください。 (M.A.)(N=322)</p> <p>(39.8) (ア) 株価の上昇による値上がり益が期待できるから (46.9) (イ) 配当益が期待できるから (29.8) (ウ) 株主優待制度を利用できるから ( 6.5) (エ) 株式投資のための手数料が安い（安くなった）から ( 5.9) (オ) 税制上の優遇措置があるから ( 4.7) (カ) 税制上の手続きが簡素化されたから（特定口座制度の導入） (22.4) (キ) 以前と比べ少額で投資できるようになったから (32.3) (ク) インターネットを通じた株式投資ができるようになったから (33.9) (ケ) 資産を預貯金以外にも幅広く運用したいから (15.2) (コ) 従業員持株制度に加入している（加入した）から (20.2) (サ) 定期預金以外で老後に備えた資産形成を行いたいから (10.9) (シ) 退職金の効果的な運用先として考えられるから ( 3.1) (ス) 確定拠出年金（日本版401K）に加入している（加入した）から ( 7.8) (セ) 株式投資に関する知識を持っている（学習した）から (17.4) (ソ) 株式投資を通じて経済や企業の動きを勉強したいから ( 4.3) (タ) 株主として企業の経営に関与したいから ( 1.9) (チ) 株式市場の公正性・透明性が高い（向上した）から ( 5.0) (ツ) 現在は株式投資を行うのに良い時期と思うから ( 5.6) (テ) 金融機関から勧められたから ( 5.9) (ト) 知人から勧められたから ( 4.3) その他（ ） ( 0.9) わからない (M.T.=324.5)</p>	<p>(Q5 (2) 投資信託で(ア)または(イ)と答えた者に聞く) S Q 2〔回答票20〕あなたが投資信託への投資を行いたい（または続けたい）と思う理由は何ですか。この中からいくつでもあげてください。(M.A.)(N=257)</p> <p>(27.2) (ア) 基準価格の上昇による値上がり益が期待できるから (47.9) (イ) 分配金が期待できるから ( 5.8) (ウ) 投資信託に関する手数料が安い（安くなった）から ( 5.4) (エ) 税制上の優遇措置があるから ( 5.1) (オ) 税制上の手続きが簡素化されたから（特定口座制度の導入） (30.0) (カ) 株式と比べ少額で投資できるから (17.1) (キ) インターネットを通じた投資ができるようになったから (27.2) (ク) 銀行や郵便局で購入できるようになったから (33.1) (ケ) 資産を預貯金以外にも幅広く運用したいから (10.5) (コ) 年金の給付を補完することができるから (14.8) (サ) 退職金の効果的な運用先として考えられるから ( 5.1) (シ) 確定拠出年金（日本版401K）に加入している（加入した）から (22.6) (ス) 株式投資に比べ、リスクを分散することができるから ( 3.5) (セ) 投資信託に関する知識を持っている（学習した）から ( 6.6) (ソ) 投資信託への投資を通じて経済や企業の動きを勉強したいから (23.3) (タ) 専門家が運用してくれるので、自分の判断で投資するよりも有利な運用が期待できるから (17.1) (チ) 自分で運用先を決めるだけの知識・経験がなくても投資が可能であるから (10.1) (ツ) 積立投資ができるから ( 5.1) (テ) 現在は投資信託への投資を行うのに良い時期と思うから (11.7) (ト) 金融機関から勧められたから ( 4.7) (ナ) 知人から勧められたから ( 1.6) その他（ ） ( 3.1) わからない (M.T.=338.5)</p>
---	--